

## ANJOほく部みんスポクラブ



本市最初の総合型地域スポーツクラブ。安城北部・里町・志貴小学校区の住民が、同地域のスポーツ活動拠点として運営している。会員制ではなく、地域住民が自由に参加できるような教室・イベントを開催し、人・地域の和(輪)を広げている。



表3. スポーツを行っている理由

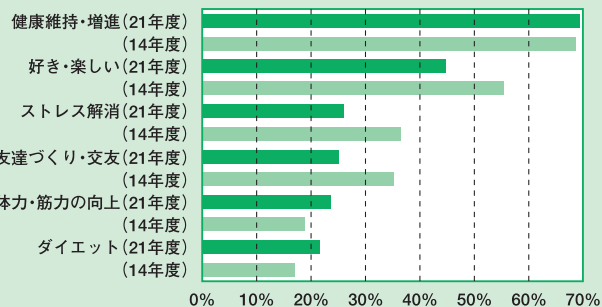
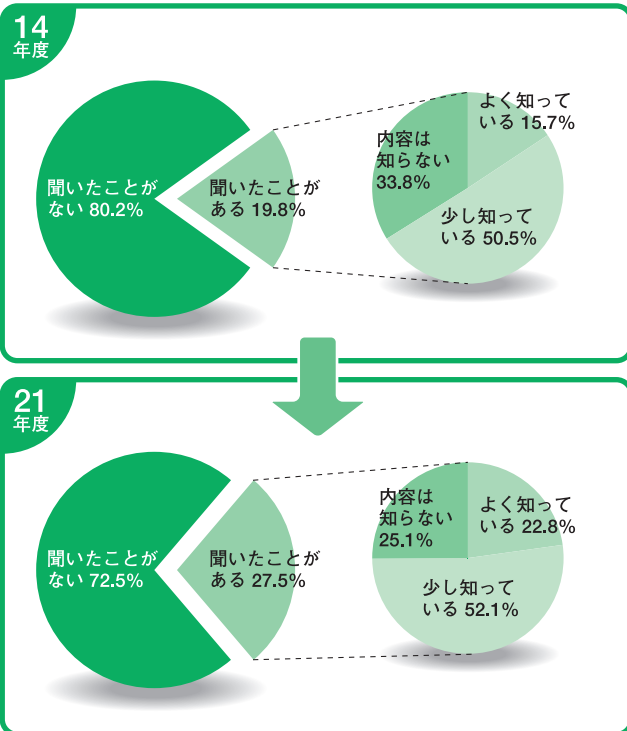


表4. 総合型地域スポーツクラブの認知度



## 調査方法

安城市スポーツ振興計画開始から5年。市民のスポーツに関する意識調査を実施し、現状や課題について調べました。また、平成14年に実施した同調査結果と比較し、変化を探りました。

無作為に抽出した一般市民ほか市内スポーツ団体所属者など1096人に調査票を配付。合わせて621人から回答(回収率56.6%)がありました。

調査結果の主な内容は次のとおりです。

なお、調査結果の詳細は、市体育館、市政情報コーナー、市公式ウェブサイトをご覧ください。

表1. スポーツ・運動をする頻度

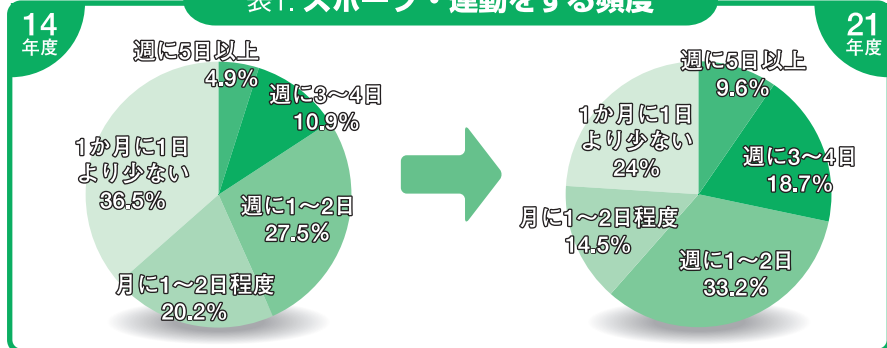
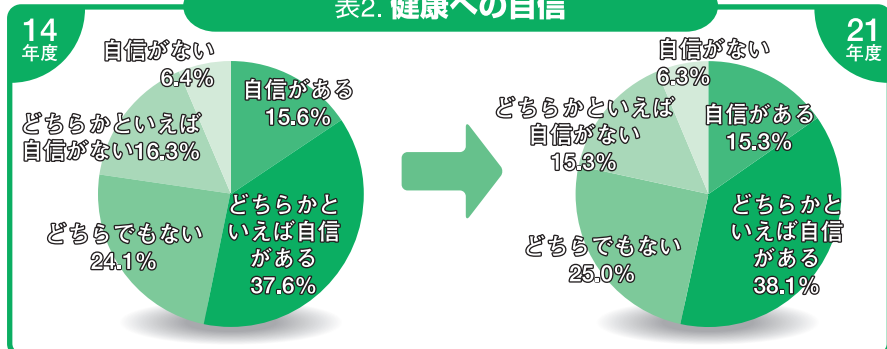


表2. 健康への自信



## 考察

●実施率が6割を超える

表1から、週1~2日以上スポーツ・運動をする人は、合わせて61.5%。平成14年度調査から、約18%増加しています。昨年度に国が実施した世論調査(※では、58.3%であり、全国平均以上の実施率であるといえます。

※内閣府が実施した「体力・スポーツに関する世論調査」のうち、「この1年間に行った運動・スポーツの日数」より。

●増加の要因

最近、メタボリック症候群対策など、健康志向の高まりからスポーツ・運動への関心が高くなっています。また、市でも、市民地域スポーツ交流会やANJOほく部みんスポクラブを創設。身近な地域で、スポーツ・運動実施の場を増やしたことが

実施率増加の要因であると考えられます。

なお、今回の調査で「スポーツをする」の表現を、「スポーツ・運動をする」に変更。散歩など身近な運動も含める表現にしたのも、実施率増加の一因と考えられます。

●健康志向の高まり

健康への自信(表2)は、ほとんど変化がありません。スポーツを行っている理由(表3)にも順位にはほとんど変化が見られません。ただし、スポーツにストレス解消や友達づくりを求める人が減り、代わりに、体力・筋力の向上やダイエットを求める人が増えています。このことから、健康志向の増加がわかります。

●総合型地域スポーツクラブ

本市では、スポーツを中心とした地域のコミュニティづくりの拠点として、総合型地域スポーツクラブの設立を推進しています。

平成20年11月には、「ANJOほく部みんスポクラブ」を発足。総合型地域スポーツクラブの認知度(表4)が、平成14年度調査から、7.7%増加しています。

▼市体育館  
(875)35335